

疾病の成り立ちと回復の促進

専門基礎分野

授業科目	病理学総論	講師	氏名	北 敏郎	開講年次	単位・時間		
			所属					
			実務経験	元教授				
1年次 前	1 単位 30時間	～後期						
科目のねらい	病理学では、病気の病因と、成り立つ機序について理解を深めることにより、疾病がもたらす身体の変化について理解する。ここでは、疾病を主に病因論、先天異常、炎症、代謝障害、循環障害、腫瘍、全身の各臓器に共通する病的変化について理解を深めていく。							
到達目標								
知識・技術	1. 主要な疾患の病状、病因、病態について理解し述べるができる。 2. 疾患がもたらす機能障害について理解し述べるができる。 3. 症状のメカニズムを図式化することができる。							
思考判断・表現	1. 人体に生じる異常状態について原因、発生のしくみ、身体への影響を考え発言できる。 2. 主要な疾患の病因、病態、病状を関連付けて、表すことができる。							
主体的学習態度	1. 疾病（病気）の成り立ちに興味・関心を持ち、授業に臨む。 2. 興味関心を持ちながら講義に出席し、自ら調べ学習を行う事ができる。							
科目評価	定期試験（筆記）：50% 単元別テスト①～⑤：50% 合計100%							
テキスト	系統看護学講座 病理学（医学書院）							
参考文献	ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち① 病態生理学（メディカ出版）							
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項	
		講義	演習	その他				
1	1. 病理学で学ぶこと 2) 病気の原因 3) 疾病の分類	○			北 敏 郎	日常生活から見るからだ 小さな生物 呼吸・循環・血液の病を見る 消化及び排泄の病を見る 体の調節と神経の病を見る 運動をすることの病を見る 体を守ることの病を見る	講義開始前は必ず、項目のページを読んで受講すること (1～15回まで) 適宜単元別テスト 評価の対象とする。	
2		○					単元別テスト①	
3		○						
4		○						単元別テスト②
5		○						
6		○						単元別テスト③
7		○						
8		○						単元別テスト④
9	8. 代謝障害 1) 脂質代謝障害 2) タンパク質代謝障害 3) 糖尿病	○						
10	9. 先天性異常と遺伝子異常 1) 遺伝の生物学 2) 先天異常	○						
11	3) 遺伝子の異常 4) 先天異常・遺伝子疾患の診断	○						
12	10. 腫瘍 1) 腫瘍の定義と分類 2) 悪性腫瘍の広がりや影響	○						
13	3) 腫瘍の発生病理 4) 腫瘍の診断	○						
14	11. 老化と死 1) 老化現象 2) 老化のメカニズム	○						単元別テスト⑤
15	3) 死体现象 4) 脳死 5) 死因とその究明	○						